

2. ハード面の投資について

スマホ de タックン（スマートフォンアプリによる配車システム）

スマートフォンアプリを利用してタクシーを素早く簡単に呼ぶことが可能になりました。オペレーターに迎え先や住所、目的地を説明する必要がないなど多様な機能を備えていることから、利用者が増加しています。

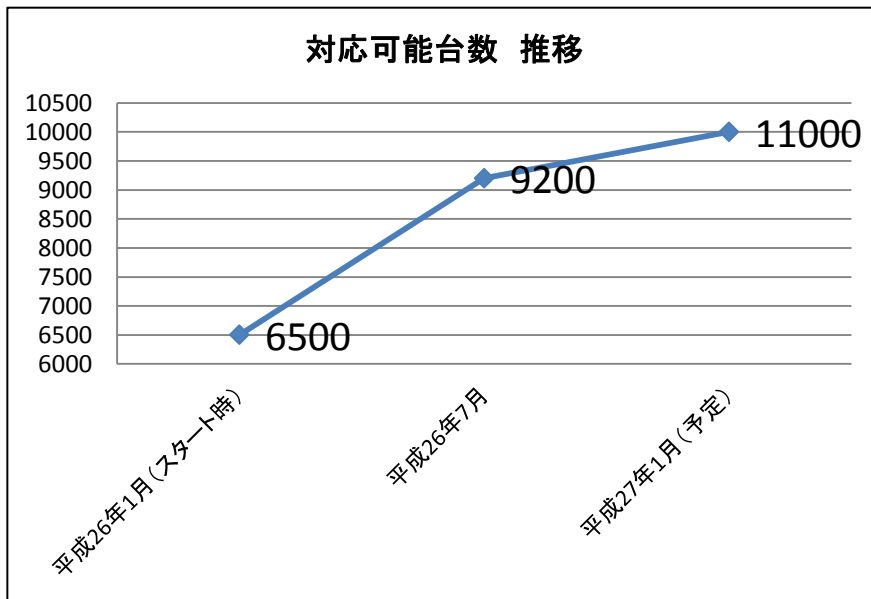
当協会においても、世界的に初の試みであるタクシー会社の枠を超え、特別区・武・三地区で最も近い車両を呼ぶことが可能な「スマホ de タックン」を平成26年1月22日より本格運用を開始しました。

アプリでは、現在9200台の車両を呼ぶことが可能で、近日中に導入台数11000台を見込んでおります。

（都内のタクシーの総台数は約44000台で全体の約20%）

（都内の法人のタクシーの総台数は約30000台で全体の約30%）

多言語化や観光アプリとの連携等をオリンピック・パラリンピックに向けて強化をします。



2. ハード面の投資について

ドライブレコーダーの導入について

ドライブレコーダーは、CCDカメラ、Gセンサーなどを内蔵した自動車版フライトレコーダーです。事故後の対応の効率化が図られるとともに、安全に関する教育や指導にも活用されます。

(法人タクシーの96% (外側カメラ) 85% (内側カメラ) が装着)



◆ タックン防犯情報システム

また、平成21年8月5日よりドライブレコーダーで捉えた映像を警察に提供することにより、相互で連携・情報提供をする「タックン防犯情報システム」を構築し、犯罪の抑止に務めております。

